

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	家電量販店（店長）	単価の動き	・オリンピック関連で、映像商品、特に地上デジタル放送受信機内蔵テレビ、DVDレコーダーがよく出ている。
	やや良くなっている	一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・地上デジタル放送への移行がようやく客に浸透し、買換えか修理かというときに買換える客が増えてきている。今のところは製品の単価がまだ高いのでありがたい。
			お客様の様子	・今シーズンの冬物の動きが非常に良く、処分も進み、2月初めから春物に動きがみられる。特に紳士物については、男性がおしゃれになり春物への注目度も高いようである。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・以前より、高額商品の売行きが若干良くなっている。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・寒さが続き、冬物衣料品の売上は好調であったが、後半になって品薄となり、売上は思っていたほどではない。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・他店との比較が厳しく、利益はなかなか出ないが、来客数が増え、成約率も上昇している。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・1、2月は圧倒的に来客数が増加している。以前はイベントを行っても客が来なかったが、今年に入り来客数が大幅に増加しており、車の売行きも良くなってきている。
		乗用車販売店（販売担当）	来客数の動き	・宣伝効果や新卒者の購入で、ここにきてかなり良くなっている。暮れ以降、クレジットが通らない客はほとんど来なくなっており、ある程度クレジットが通る客や現金で購入する客が増えてきている。
		乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・ようやく地方都市にも不況脱出の波がきたようで、客室稼働率が上昇し、来月、再来月の予約も順調に進んでいる。
		都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・営業を強力に促進しており、3か月前と比べ今は歓送迎会や早めの総会等の予約が少しずつ入ってきている。大きい会合ではないが、小さいものの数が増えてきている。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・前年に比べ、美容院開設の相談件数がこの時期にしては若干増えている。
	美容室（経営者）	それ以外	・車検の入庫は相変わらず鈍いものの、前年を2%程度上回っている。ただし、売上の減少は続いている。	
	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	来客数の動き	・市町村合併で接点地域に人気集中しているものの、土地売買の動きは良くなっている。旧市街地については、商業と同様に人気がなく、土地変動もない。	
	変わらない	商店街（代表者）	単価の動き	・単価の高い物が売れる一方、安い品はほとんど動いていない。市場が二極化している。
一般小売店〔精肉〕（経営者）			お客様の様子	・皆お金を使おうと考えているようでスーパーのチラシも見ているのだが、買っているのは必要品のみである。
百貨店（総務担当）			それ以外	・12月より新商品を展開したことで月を追うごとに来客数が多くなり、他の商品の売上も増加したものの、今まで売れていた商品が売れなくなっている。
百貨店（販売促進担当）			販売量の動き	・今月は寒さが続き冬物商品が不足したこと、春物商品の動きが遅いことにより、前年を下回っている。
スーパー（統括）			販売量の動き	・防寒衣料や暖房用品は1月中旬から店頭、市場在庫共に品薄状態で、春物の売上は伸びず、苦戦を強いられている。2月中旬以降、野菜の高騰も落ち着きを取り戻しているが、1点単価は依然として高く、買上点数は減少している。節分、バレンタインは前年比115%と大きく伸びており、モチベーションに対する消費意欲は衰えていないことがうかがえる。
コンビニ（経営者）			お客様の様子	・客は目的買い以外の商品にはなかなか手を出さない。景気回復への期待感はあるが、厳しい状況は脱していない。

	コンビニ（店長）	それ以外	・売上は前年並みであったもの、店の前で1月末から道路工事が始まり、片側通行になったことで、来客数が前年の95%に落ち込んでいる。力を入れていたバレンタインもさっぱりである。
	コンビニ（店長）	単価の動き	・客は公共料金の支払だけで帰ってしまい、あまり無駄な買物はしない。
	衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・買上客数は前年より14%伸びたが、スーツなどの高額商品の売上が低下していることから、販売額は前年同様である。
	家電量販店（営業担当）	単価の動き	・薄型テレビは台数ベースで前年比150%と好調であるが、金額ベースでみると同110%である。また、映像商品全体では同94%と苦戦している。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新型車が発売になり来客数は増えたが、販売台数が予想以下である。
	住関連専門店（店長）	販売量の動き	・商品販売実績は前年、前月とほぼ同等で変化はない。
	その他専門店〔携帯電話〕（営業担当）	販売量の動き	・例年なら新生活者を中心に2月中旬ごろから携帯電話の購入が増加していたが、今のところ動きは鈍い。
	高級レストラン（店長）	販売量の動き	・オリンピックの中継や天候不順の影響で、売上が前年比で5%程度落ち込んでいる。基本的に低水準で推移しており、回復にはまだ時間が掛かる。
	一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・景気が良くなってきているという手ごたえは感じるものの、その日によってむらがありすぎ、結果的に売上増にはつなげていない。
	観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・スキーシーズンも後半に入ったが、相変わらず宿泊客数の伸びが良くない。週末の入込は決して悪くないが、ウィークデーの落ち込みはひどく、料金を下げても反応が悪い。
	タクシー運転手	来客数の動き	・今月は稼働日数が28日しかないので、31日までであった3か月前や前月と比べると売上はやや下回っているが、前年同月でみると若干良くなっている。
	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・2月のケーブルテレビの契約数は1月と横ばいで、量販店でのイベント状況からしても上向きとはいえない。
	観光名所（職員）	お客様の様子	・年間を通じて比較的暇な時期であるが、ホテル、レストラン関係の入込状況は例年並みである。一部、人気の高い店は例年以上の売上を上げている。
	ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・3か月前と比べると来客数が若干減っており、やや悪くなっているが、雪の影響も考えられるので、例年と比べると変わらない。
	競輪場（職員）	お客様の様子	・来客数、購買単価共に変化がみられない。
	設計事務所（所長）	競争相手の様子	・相変わらず仕事量が少ないというのが仲間同士での会話である。春になったら着工ということであれば、すでに設計依頼がなければならぬが現実には少ない。
	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・閉店や小企業の倒産が続いており、分譲地も本当に安くないと売れない。
やや悪くなっている	スーパー（経営者）	販売量の動き	・客単価は前年並みになってきているが、競合店との価格競争が激化しており、3か月前と比べると売上は約2%ほど減少している。
	スーパー（店長）	販売量の動き	・豪雪のために自動車での移動が厳しかったこともあり、この冬の始まりのときのような特需は続かなかった。
	住関連専門店（仕入担当）	販売量の動き	・12月は寒波の影響で季節品を中心に売上高が上がったが、1月からは反動もあり低迷しており、2月も全体的に良くない。競合などの外的要因ではなく、販売量の減少が影響している。
	スナック（経営者）	来客数の動き	・1月から2月中旬までは豪雪の影響もあり、フリー客、宴会共に来客数が前年の6～7割程度とかなり悪かった。2月下旬からはようやく予約状況が良くなり、フリー客も増加してきているが、前年と比べるとまだ落ち込んでいる。
	タクシー運転手	販売量の動き	・2月に入っても好天の日が続き、昼間のタクシー需要に結び付かない。前年と比較してもスペシャルオリンピックのような特需がないので、売上が伸び悩んでいる。

		タクシー（経営者）	お客様の様子	・夜の動きが悪く、特に深夜の動きが悪かったため、前年同月比で9%の減少である。
		美容室（経営者）	販売量の動き	・天気のせいか来客が非常に悪かった。1月に成人式などがあったが、このごろ行事の後はこうなることが多い。売上は2割減少している。
	悪くなっている	一般小売店〔衣料〕（経営者）	販売量の動き	・2、3月は新学期に向けて学生用品の販売活動を行っているが、競争相手も学販ということで力を入れており、客の取り合いになっている。販売量はあまり芳しくない。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・寒さが続いた結果、婦人服の売上は前年同期より増加したが、全体的な来客数の減少には歯止めが掛からず、苦戦している。
		タクシー運転手	それ以外	・とにかく利用客が少ない。街に人通りがなく、タクシーを利用する人がいない。
企業 動向 関連	良くなっている	不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・予定どおりテナントが入居した分、賃貸収入が増加している。
	やや良くなっている	金属製品製造業（経営者）	取引先の様子	・排ガスの長期規制と3月期末の関係もあり、特に好況に推移している。そのほか、産業機械、工作機械など、期末に関係なく引き合いが順調である。
		一般機械器具製造業（生産管理担当）	受注量や販売量の動き	・四輪駆動車向けの量産が好調に伸びてきている。また、他の分野の仕事についても全体的に受注残が増加し、納期どおりの生産が追いつかない状況で、一部の部署でシフトを変更して対応している。2月単月の売上高としては過去最高を更新する見込みである。
		金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・製造業においては、自動車、プラスチック加工、半導体部品製造等で好調を維持しており、特にここ3か月くらいで設備投資が増加している。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・引き合い、受注量共に増加傾向にある。設備投資、情報化投資も活発に推移している。
	変わらない	化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・秋口からずっと忙しい状態が続いている。4月中旬まではこの状況でいく。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・量産の受注は相変わらず少ない。少量多種は以前に比べ50%強の受注が入っている。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・昨年2月は前年より受注が約15%落ちたが、今年は前年比横ばい程度である。景気そのものは大きく動いていない。
		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・貨物輸送依頼の数量は、ほぼ前年並みであるが、燃料の高騰による負担が厳しい。
		不動産業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・以前の業者よりも安い値段でやらないかという相談がある。
新聞販売店〔広告〕（総務担当）		取引先の様子	・チラシ出稿量は、前年比99.3%となっている。昨年11月に量販店が閉店したことを考慮すれば、健闘している。 ・冬物を扱う店では、年末からの大雪、寒波で品物が売切れ、この時期に売れる物がなく、バーゲンもできない状況となっている。売切れのために掲載できる商品がないので、チラシを出せないと聞いている。	
その他サービス業〔放送〕（営業担当）		受注量や販売量の動き	・電機産業、自動車産業等、製造業からのコマースは横ばい状況にある。商業、サービス業、不動産業からの新規のスポットコマースの引き合いは増えてきているが、期間が短く小口化している。	
やや悪くなっている	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・店頭売上は1月のセール以降伸びていない。春のセール用の発注も小ロットで終わっている。地金、ダイヤモンド等の材料物の価格はいまだに高騰が続いており、今までの価格での受注が難しい状況である。	
悪くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・1月の売上は2004年5月以来の低水準になっている。2月も思ったほど受注がなく、今年に入り、前年比3～4割減、特に設備投資関連の仕事が極端に減り、売上が激減している。	
雇用 関連	良くなっている	求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・当社の取り扱っているエリアでは雇用が大変増え、1月中旬から求人広告の掲載件数が伸びてきている。3月初旬にはアウトレットが店舗数を増やしてオープンし、その周辺でも開店がいくつ控えており、雇用が非常に活発になっている。

やや良くなっている	人材派遣会社 (営業担当)	求人数の動き	・製造業の景気が非常に良くなっているようで、求人数が多くなってきているとのことである。製造関係に就職を希望する登録者が非常に少なくなっているが、これは既にそのような人が製造業関係に抱えられ、市場に出てこないからである。
	求人情報誌製作会社 (経営者)	求人数の動き	・ここにきて求人数が多少増加している。今までは正社員以外の求人が多かったが、最近では正社員の募集も目立ってきており、雇用環境は良い方向に向かっている。
	職業安定所(職員)	求人数の動き	・3か月前と比較した新規求人数は、12月が6%、1月が9%、2月が24%と3か月連続で増加しており、増加率も徐々に大きくなってきている。
変わらない	職業安定所(職員)	周辺企業の様子	・求人数は依然として伸び悩んでいるが、雇用調整を行わない企業がわずかながら増加している。
	職業安定所(職員)	求人数の動き	・前年比で新規求人数が4か月連続減少していたが、全国展開している大手家電販売店の新規出店があり、求人数はその約1,200名分を含め7,200名と大幅に増加し、過去3年のなかで最も多い求人数となった。この大量求人を除いても今年度で最も高い水準であり、企業の採用意欲の向上がみられる。ただし、雇用形態は正社員の割合が少なく、数字ほど改善はみられない。
	職業安定所(職員)	求人数の動き	・新規求人数は増加を続けているが、派遣、請負等の非正規求人が増えていることから、正社員を希望する多くの求職者にはなじまず、就職したものの短期間で離職して再就職申込をするケースが特に若年層に目立っている。
	民間職業紹介機関 (経営者)	求人数の動き	・製造業、コンピュータ関係のソフト開発が総じて良い方向にある。企業合併の影響から都市銀行でのソフト開発投資が活発になっている模様で、地方企業の受注量にも影響が出ている。
	学校[大学] (総務担当)	採用者数の動き	・就職希望者の内定率は85%であり、数か月間変わらずに推移している。
やや悪くなっている	人材派遣会社 (経営者)	求職者数の動き	・自動車関連、電子関連、電機関連等、製造での求職者数が増加してきている。販売関係は小売店の売上が若干増加したようで、スタッフの数が増えているが、全体的には、まだまだ厳しい状況である。
悪くなっている			